

令和3年度指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日

施設名	大和市障害福祉センター 松風園
指定管理者	社会福祉法人大和しらかし会 理事長 春日 恵美子
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

(ア) 指定管理事業の実施状況

	児童発達支援センター 第1松風園に関する業務	知的障害者生活介護型施設 第2松風園に関する業務
事業実施日数	233日	263日
在籍児者	41人	50人
延利用人数	7,587人	12,290人

(イ) 自主事業の実施

日中一時支援事業(障がい児者の預かり事業)や、地域住民を対象とした公開講座などの自主事業が実施されました。

【参考:日中一時支援事業】

	障がい児日帰り対応型	障がい者日帰り対応型
延べ利用人数	981回	1,497回
利用者数	42人	25人

(ウ) 施設管理

毎日実施	施設内清掃
定期実施	年16回:エレベーター点検 年13回:小荷物専用昇降機点検 年12回:自家用電気工作物巡視点検 年4回:自動ドア点検、害虫駆除 年2回:木部床面清掃、長尺シート清掃、カーペット・絨毯清掃、ガラス清掃、調理室レンジフード清掃、グリストラップ清掃、消防設備点検、非常用放送設備点検 年1回:電気設備精密点検、高架水槽等清掃、ガスレンジバーナー清掃
不定期実施	年2回:樹木消毒・剪定
別途実施	空調機整備・点検・冷暖房切替、エアハンドリングユニットフィルター清掃は同年に実施した空調機入替え工事内で対応。

2. 収支決算概要

(単位:円)

<経常活動による収支>

		第1松風園	第2松風園	本部	計
収入	指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	48,500,000	18,400,000	1,000,000	67,900,000
	介護給付費・児童施設給付費 (法令等に基づき国等が指定管理者に支払った給付費)	125,516,063	179,124,563	0	304,640,626
	利用者負担金 (法令等に基づき利用者が指定管理者に支払った負担金)	0	0	0	0
	補助金収入	7,000	14,000	500,000	521,000
	その他の事業収入	0	0	0	0
	特定費用	1,846,650	2,677,890	0	4,524,540
	保険等査定減	0	0	0	0
	その他 (寄付金・雑収入等)	2,752,404	3,615,709	21,320	6,389,433
	計	178,622,117	203,832,162	1,521,320	383,975,599
支出	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料・諸手当・法定福利費・役員報酬など)	133,947,413	163,076,450	748,108	297,771,971
	事務費 (指定管理者が支払った施設管理などの委託費など)	25,041,074	15,161,870	1,341,240	41,544,184
	事業費 (指定管理者が支払った給食費や水道光熱費、送迎の委託費など)	8,600,198	17,745,491	202,396	26,548,085
	その他支出 (利用者等外給食費支出)	2,444,221	3,835,795	0	6,280,016
	計	170,032,906	199,819,606	2,291,744	372,144,256
収支差額		8,589,211	4,012,556	-770,424	11,831,343

<施設整備等による収支>

		第1松風園	第2松風園	本部	計
収入	施設整備等収入	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
支出	固定資産取得支出	896,640	610,425	0	1,507,065
	計	896,640	610,425	0	1,507,065
収支決算		-896,640	-610,425	0	-1,507,065

<その他の活動による収支>

		第1松風園	第2松風園	本部	計
収入	積立資産取崩収入(退職給付引当資産取崩収入)	0	1,311,370	0	1,311,370
	サービス区分間繰入金収入	0	0	8,000,000	8,000,000
	計	0	1,311,370	8,000,000	9,311,370
支出	投資有価証券取得支出	0	0	0	0
	積立資産支出	1,757,000	1,828,000	0	3,585,000
	サービス区分間繰入金支出	4,500,000	1,500,000	7,000,000	13,000,000
	その他の活動による支出	0	0	0	0
	計	6,257,000	3,328,000	7,000,000	16,585,000
収支決算		-6,257,000	-2,016,630	1,000,000	-7,273,630
		第1松風園	第2松風園	本部	計
収支差額合計		1,435,571	1,385,501	229,576	3,050,648

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和4年8月8日に福祉行政にかかわる指定管理者評価委員会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

【第1松風園事業】

- ・事業計画で策定をした利用児及び家族支援や地域支援及び交流などの行事を、令和2年度の経験を踏まえ一部変更や縮小、時間の分散などの工夫によりほぼ実施したことは評価できます。
- ・臨床発達心理士、理学療法士、作業療法士、音楽療法士、看護師、社会福祉士などの専門職員を配置し、様々な障がい特性に合わせて細やかな支援を行うことができる体制を整えることで、平等な利用の確保に努めていることは評価できます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としての登園自粛や、利用児又は家族が罹患したことで登園が出来ない方に対し、安心して自宅で過ごせるように在宅支援を実施していることは評価できます。
- ・家庭生活や卒園後の生活に向けた本人、きょうだい児や家族の支援など、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、継続して幅広い支援を行っている点は評価できます。
- ・家族会、懇談会や講習会など新型コロナウイルス感染症対策を講じながら開催し、園の取組み等について情報提供をするとともに、保護者から意見聴取を行いサービス向上に努めているほか、保護者に対する学習会等を実施している点は評価できます。
- ・週5日利用に加え、週2日と週3日利用のグループ設定をして保育所や幼稚園の併用希望に応じるなど、利用ニーズへの対応、延べ利用児数や利用率の向上に努めている点は評価できます。

【第2松風園事業】

- ・事業計画で策定をした外出やボランティアなど関係者以外を招いての行事は、新型コロナウイルス感染症対策の面から中止が相次ぎましたが、施設内や近隣のみで行うなど規模の縮小や変更を行い、行事の再開を見越して利用者のやり甲斐や生き甲斐が継続されるようにしている点は評価できます。
- ・各種専門職員を配置し、利用者の特性に合わせて細やかな支援を行うことにより様々な障がいに合わせて細やかな支援を行うことができる体制を整えることで、平等な利用の確保に努めていることは評価できます。
- ・新型コロナウイルス感染症により受注状況に波は生じたものの、継続したテレビ台部品の箱詰め、ハンガーの袋詰め、製品バーコードシール貼り作業や、自主製品作業等の授産作業を通じて社会参加の機会を提供し工賃を支給することで、報酬を得る喜びを感じてもらえるようにしていることは、利用者のサービス向上につながっていると評価します。
- ・送迎事業を実施し、重度障がいの利用者や送迎手段がない利用者も平等に施設を利用できるよう努めている点は評価できます。
- ・オンブズパーソンとの面談、家族会や個別面談を通じて利用者や保護者から意見聴取を行い、サービス向上に努めている点は評価できます。
- ・コロナ禍においても日々通い続けることを希望される利用者のため、感染症対策を実施しながら土曜日の開園を継続し、利用ニーズへの対応、延べ利用者数や利用率の向上に努めている点は評価できます。

【共通】

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら法人内で研修会を実施し、職員の資質向上に努めている点は評価できます。
- ・社会参加の一つとして市内巡回作品展や美術展に出展し、利用児者の制作意欲向上や自信に繋げる活動を積極的に継続していることは評価できます。

【独自事業】

- ・保育所等訪問支援事業や障害児相談支援事業を行い、児童発達支援センターとしての専門的機能を生かした効果的な事業実施に努めています。

- ・ 保育所等訪問支援事業では、保育園・幼稚園・小学校・中学校など幅広く訪問を実施し、専門的支援を行っている点は評価できます。

評価の視点2: 施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

【第1松風園事業】

- ・ 事業計画で策定をした各種専門職員による支援が提供されたことや、家族と支援内容の情報提供や意見交換のための行事を、一部中止や変更などはありませんでしたが実施したことは評価できます。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、行事で一部中止はありましたが、縮小や分散など内容に変更や工夫をすることで利用児の社会経験拡大のためにほぼ予定通り行ったことや、将来の自立に向けた保護者やきょうだい児の学習会を行っている点は評価できます。
- ・ 個々の利用児の行動観察、理学療法による運動発達に対する支援、作業療法による日常生活を支える 体の使い方や道具の使い方についての支援等により、利用児支援の充実を図り、更に家族支援として情報共有することを行っている点は評価できます。

【第2松風園事業】

- ・ 事業計画で策定をした各種専門職員による支援が提供されたことや、新型コロナウイルス感染拡大の中でも、利用者の多くが自宅で過ごすことが難しく通所の継続が求められており、送迎事業を含め事業を継続してきたことは評価できます。
- ・ 理学療法士及び作業療法士による身体機能の評価と機能訓練を実施し、補装具や車椅子の調整など専門的な助言により病院や各種業者等と連携している点は評価できます。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により受注が難しい状況でも授産作業を継続し、工賃を支給し続けられたことは評価できます。

【共通】

- ・ 地域の拠点としての役割を担うため、コロナ禍でも定員の設定やオンライン開催など実施方法を工夫し、地域住民や保護者を対象とした地域生活支援公開講座や自閉症療育講座を実施している点は評価できます。

【独自事業】

- ・ 保育所等訪問支援事業の中で、障がい児のもつ困難さを理解し、より良いコミュニケーションがとれるよう、保護者向けにティーチャーズ・トレーニングを法人事業として実施している点は評価できます。
- ・ 児童発達支援センターの地域支援の一環として訪問相談事業を立ち上げ、民間保育園に対し、訪問相談を実施している点は評価できます。
- ・ 施設の空きスペースを利用し、利用者や家族の状況に合わせた日中一時支援事業を実施しています。

評価の視点3: 施設の適切な維持及び管理が図られたか

【施設の維持及び管理】

- ・ 『公共建築物「管理マニュアル」』に基づく定期点検を実施しており、適切な施設の維持管理が行われています。
- ・ 「大和市環境マネジメントシステム」に基づき、環境に配慮した施設運営が行われています。

【防災の取り組み】

- ・ 自衛消防訓練(火災や地震を想定)を定期的に行っています。
- ・ 利用児者と職員分190名、3日分の防災食及び防災用品を備えているほか、大規模災害に備えて衛星電話を設置しています。

評価の視点4: 施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・関係団体の主催する研修会や外部研修に職員を派遣するなど職員の資質向上に努めています。また、研修内容は職員会議で報告し、情報の共有化を図っています。
- ・事業収支は、自立支援給付費収入増等により、令和2年度と比較して収入増となりました。支出面では、人件費等による事業費の増加はありますが、安定した財務状況と判断しています。